

富津市健康づくり推進協議会会議録

1 会議の名称	富津市健康づくり推進協議会
2 開催日時	平成24年7月30日（月） 14時29分～16時08分
3 開催場所	富津市役所4階 401会議室
4 審議等事項	(1) 平成23年度事業実績報告について (2) 平成24年度事業について
5 出席者名	会長 平野和夫委員、副会長 田中治実委員、 渡辺隆二委員、君津保健所長（代理/地域保健福祉課長 石井市枝）、椎津裕貴委員、坂井英一委員、高橋多賀子 委員、大野佳志子委員、平野弁一委員、雨笠正昭委員、 深津幸三委員、磯部健一委員、小柴貞雄委員、 田中明夫委員、 以上委員14名 正司健康福祉部長・岩野健康づくり課長・島田国民健 康保険課長・鈴木課長補佐（健康づくり係長）・栗本特 定健診推進係長・平野順子主査・平野幸子主査・圓川 総括保健師・加藤主任保健師
6 公開又は非公開の別	公 開
7 非公開の理由	
8 傍聴人数	0人 （定員10名）
9 所管課	健康福祉部健康づくり課健康づくり係
10 会議録（発言の内容）	別紙のとおり

上記会議の顛末を録し相違ないことを証するためにここに署名する。

平成24年7月30日

富津市健康づくり推進協議会 会 長 平 野 和 夫

署名委員 坂 井 英 一

署名委員 田 中 明 夫

富津市健康づくり推進協議会会議録

発言者	発言内容
事務局 鈴木課長補佐 (健康づくり係長)	只今から富津市健康づくり推進協議会をはじめさせていただきます。 私は、健康づくり課課長補佐の鈴木と申します。会議の進行を務めさせていただきます。よろしくお願いします。 任期満了に伴い皆様方には、新たに委員をお願いいたしましたところ、快くお受けいただきましてありがとうございました。 この会議は富津市情報公開条例第 23 条の規定により会議の公開と会議録を作成し閲覧に供さなければならないこととなっておりますので傍聴人の受け入れと会議録の公表についてご理解の程お願いいたします。また、会議録作成に録音機の使用をさせていただきますのでご了承ください。 続きまして、4 月 1 日付で新たに委員さんが委嘱され、初めての会議ですので、健康づくり課長の岩野から委員の皆様方のご紹介と併せて事務局の紹介をさせていただきます。
岩野健康づくり課長	(席次順に委員の紹介) (事務局職員の紹介)
事務局	本日の会議は、出席者 14 名で全員でございますので成立いたします。 それでは、富津市健康づくり推進協議会開催に当たり、副市長からご挨拶申し上げます。
平野副市長	皆さんこんにちは、本来であれば市長がご挨拶申し上げますところですが、公務のため代わりまして、ご挨拶申し上げます。 本日は、大変お忙しい中、富津市健康づくり推進協議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。 また、日頃から委員の皆様方におかれましては、健康づくりの推進はもとより、市行政にあたりましてご支援、ご尽力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。 委員の皆様方には、任期満了に伴いまして新たに 4 月 1 日付で、本協議会委員として委嘱させていただいた訳でございますが、平成 26 年 3 月までの 2 年間でございます。よろしくお願いいたします。 さて、昨年度から任意予防接種の子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンにつきましては、費用の 45%を国が負担し、残り 55%を市が負担することによりまして、無料で接種することができるようになりました。

	また、若年健康診査につきましては、他市より年齢を若くしてありまして、富津市では男女ともに１８歳から受診できるよう対象年齢を引き下げたところでございます。 今年度は、新規事業といたしまして大腸がん検診を無料で受診できるクーポン券を４０歳、４５歳、５０歳、５５歳、６０歳の節目の方々を対象に送付いたしまして、受診率の向上に努めているところでございます。 大腸がん検診の詳細につきましては、後ほど、議題の中でご説明させていただきますと思います。 今後とも、保健事業を一層充実させ、市民の健康増進に努めてまいりますので、引き続き皆様方のご支援を賜りますようお願い申し上げます。 なお、本日の議題でございますが、「平成２３年度事業実績について」と「平成２４年度事業について」の２件でございます。 委員の皆様には、それぞれの立場から、ご意見、ご指導賜りますようお願い申しあげまして、挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。
事務局	続きまして、次第３会長及び副会長の選出でございますが、本年３月末をもって、本協議会委員の任期満了に伴い、４月１日付で新たに委員さんを委嘱させていただきましたので、現在会長、副会長が決まっております。会長が決まる迄の間、事務局案といたしまして、仮議長を大佐和地区区長会長の磯部委員さんをお願いしたいと思いますが、委員の皆様にはご承認いただけますでしょうか。
	(異議なしの声あり)
事務局	ありがとうございます。それでは、磯部委員さんに仮議長をお願い致します。 恐れ入りますが、議長席をお願いいたします。
磯部議長	では、会長が決まるまで暫時議長を務めさせていただきますので、よろしくご協力の程お願い致します。 資料の中に設置要綱があると思いますが、この設置要綱第５条の規定によりまして、会長は委員の互選により定めるとありますが、如何いたしましょうか。
平野弁一委員	前期、平野副市長にお願いした訳でございますが、今回も引き続き平野副市長にお願いしたら如何でしょうか。
	(異議なしの声あり)

磯部議長	只今、副市長の平野和夫委員の推薦がありましたが、他にございますか。 ないようでしたら、推薦のありました平野和夫委員が、会長ということでご異議ございませんでしょうか。
	(異議なしの声あり)
磯部議長	ありがとうございます。それでは、ご異議ないものと認め、会長は平野和夫委員をお願いをいたします。 会長が選任されましたので、以上で私の仮議長の職を解かさせていただきます。ご協力ありがとうございました。
事務局	ありがとうございました。 平野和夫委員には、議長席をお願いいたします。
議 長	只今、皆様の支持によりまして会長になりました平野でございます。よろしくお願いいたします。医療費の高騰ですとか病院の不足ですとか言われておりますが、予防行政の大切さということを認識していただいた中で、富津市の市民の健康を守っていきたいと考えますのでご協力をお願いいたします。 それでは、次に副会長の選出ですが、本委員会設置要綱第5条の規定によりまして、会長と同様に副会長は委員の互選によると定めてありますが、如何いたしましょうか。
坂井英一委員	副会長に大佐和分院院長の田中治実委員を推薦いたします。
議 長	他にございませんか。 ないようでしたら、推薦のありました田中治実委員が、副会長ということでご異議ございませんか。
	(異議なしの声あり)
議 長	ご異議がないものと認めまして、副会長は田中治実委員にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。
議 長	議事に入りますが、初めに会議録署名人を2名定める必要がありますが、選出方法は如何致しましょうか。
	(一任の声あり)

議 長	一任という声がありますが、会長一任ということでよろしいでしょうか。
	(異議なしの声あり)
議 長	異議なしということですので、会議録署名人に坂井英一委員、田中明夫委員のお二方をお願いしたいと思います。 よろしくお願いします。
議 長	次第４の議題に入ります (１) 平成２３年度事業実績報告についてを議題とします。 事務局の説明を求めます。
岩野健康づくり課長	健康づくり課の平成２３年度事業実績についてご報告いたします。 (会議資料２ページから８ページに基づき報告を行った。)
島田国民健康保険課長	国民健康保険課の平成２３年度特定健康診査等事業についてご報告いたします。 (会議資料９ページから１０ページに基づき報告を行った。)
議 長	事務局の説明が終わりました。これから質疑に入りますが、どなたかご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。何かございませんでしょうか。
平野弁一委員	３点、４点ほどありますが、まとめてがいいですか、一つずつがいいですか。
議 長	一つずつお願いします。
平野弁一委員	２頁の健康増進法による健康診査はどういう方が対象になりますか。対象者が少ないようですが。
鈴木課長補佐	国民健康保険や社会保険の健康保険に入っていない方で、生活保護の方が対象者です。対象者数が１３１名となっていますが、医者にかかっている方を除いた４０歳以上の方に個人通知をしまして、集団検診で受診率が低いですが、そういう方の健康診査です。
平野弁一委員	３頁の胃がん検診の件ですが、これは集団検診の結果のみで、人間ドックは含まないという説明がございましたが、これはなぜ別にしておかなくてはいけないのですか。
議 長	報告の仕方について、なぜ胃がん検診は、人間ドックの分をここに加算しないか。はい事務局。
鈴木課長補佐	対象者数が１６,８０９人で国勢調査の人数を基にしています。 全国同じ方法ですが、市役所で行った検診の人数を報告することになっていまして、人間ドックで受けた方の人数は入れないことになっています。

議 長	対象者数の決め方と、対象者数の報告の仕方の規定があるのであれば話してください。
平野幸子主査	対象者につきましては、全国同一で国勢調査の市町村人口引く就業者数で農林水産業に従事する方を除くという出し方がありまして、それで対象者を出しています。報告についてですが、実施者数というのは、市の検診として実施した分ということになりますので、胃がん検診につきましては、集団検診でしかやっていませんので、その数ということになります。課長説明の中で人間ドックについて人数の報告があったのですが、参考までにということで聞いていただければと思います。
平野弁一委員	市で人間ドックに対して補助が出ていますよね。
事務局	はい
平野弁一委員	はい、そういう事でしたら。 それとですね、6頁の家庭訪問指導というのがございましたが、これは検診をやってチェックの入った人に対してこういう家庭訪問指導をされているのでしょうか。そうでなければ、どういう方を対象にやってらっしゃるのか。
加藤主任保健師	家庭訪問指導ですが、市で行っている特定健診や若年健診の健診結果を見て、重症化予防や発症予防で個別に説明が必要な方を対象に結果説明会や個別相談をご案内しているのですが、どうしても結果を取りに来られない方や1回だけでなく継続して指導を続けていく必要がある方などに家庭訪問指導を実施しております。
平野弁一委員	8頁の1歳6か月児健診と3歳児健診で、1歳6か月児健診の対象者が254人で受診者が217人で受診率85.4%ということなのですが、残り15%のお子さんはどうなっているのか、どういう対応をしているのか伺います。
圓川総括保健師	健診に来られない方には、ハガキで次回のご案内を差し上げて、それにも来られない方については、電話や訪問で健康状態等を確認させていただいております。来られない方の理由は、保護者の方がお仕事をされていて病院でやりましたとか、もともと持病があって健康管理を医療機関でやっていますとか。来られないけど、少し心配がありますという方には家庭訪問等で対応しています。
平野弁一委員	ということは、今の話の中で未受診の方で医療にかかっている方等を含めると100%と理解してよろしいですか。
圓川総括保健師	把握はしております。
平野弁一委員	ということでよろしいですね。
議 長	報告書で注釈を入れる部分があったら、下に括弧書きか何かで、こういうものは、このようにしていますということがあれば理解がしやすいと思いますから、報告書も少し考えてみてください。

平野弁一委員	9 頁の特定健康診査の個別健診の実施時期で、6 5 歳以上の被保険者については8 月 1 5 日まで実施すると書いてありますが、集団検診の会場ではやっていただけないですか。
栗本特定健診推進係長	6 5 歳以上の個別健診の場合ですが、個別健診か集団検診のどちらか選択していただくようになっています。主治医にかかっている方が多いので、そういう方が個別健診になります。主治医のいない方とか、集団検診の会場が近い方とかは、集団検診で受けていただくことができます。
平野弁一委員	最後の質問になりますが、区の総会の時に保健師さんに来ていただいてこういった事を説明していただいた事がございます。 そういった中で、補助金の関係で健康診断を何パーセント以上受けていただくようお願いをしたいというようなことがありましたけれども、今事務局の説明がありましたが、その件については、説明がありませんでしたので、その辺は如何でしょうか。
島田国民健康保険課長	5 か年の計画がございまして。当初厚生労働省からの計画ですと、受診率6 5 %指導率4 5 %につきましては、後期高齢者支援金というのが富津市で約8 億円を支払っています。この部分が1 割8 千万円の部分についてペナルティを課すということで当初話がありました。 しかし、富津市も受診率4 0 %位なのですが、殆どの市町村でこれが見つからない。2 2 年度実績ですと8 の町と村だけが6 5 %を達成したということで残る殆どの市町村が、特に市は達成したところがございませぬ。そういう中で2 7 年度分からこの部分に影響を与えるということですが、受診率については、見直しをして、今のところそういった事を避けるといいますか、指導を何もしない市、これについてペナルティをどうするかということを検討しているということが厚労省からの話です。以上です。
平野弁一委員	その件については、取りあえず延びたというか、なくなった。
島田国民健康保険課長	殆どの市町村がですね、1 8 0 0 位あるのですが、その内8 の町や村で村が殆どで、町でも達成していない。実施しますと大半がなくなってしまいうことで保健指導の方をやっていないという、その部分を数パーセント変更していくというのが今の状況です。
栗本特定健診推進係長	補足ではないのですが、先程2 3 年度の実績の中でお話がありましたように2 4 年度についても受診率の向上のために地区の総会などで区長さんをはじめ色々な方にお世話になりました。受診勧奨のためのモデル地区を設けまして、今年は天羽地区にお医者さんに来ていただき健康講演会を行いました。2 3 年度の受診率が確定するのは1 1 月でとお伝えした通り、2 4 年度の実績が反映するのもまだ先のことでございますので確定ではないのですが、これまでの状況から判断してペナルティと言いますか、加算については無いものと思っています。

議 長	他にございませんか。
正司健康福祉部長	平野委員さんから、色々ご質問ご意見等頂きました。その中で例えば人間ドックのお話をいただきました。これにつきましては、国保の方はわかるのですが、社会保険はわかりませんが、参考までに空いている欄を利用いたしまして、人間ドックで受けた人数とか、そういったものをこの中に記載して解り易いようにしたいと思います。 それから対象者数というのが２２年度２３年度同じ数字になっております。これは、なぜかということですが、１７年度の国勢調査の人数を使う事になっておりますので２２年度２３年度の数字が同じだという事で、ここら辺ももう少し記載をして解り易く、また、見やすいようにしていきたいと思います。
議 長	他にございませんか。 ないようでしたら、（１）の平成２３年度事業報告を終わりにしますが、今あった意見については事務局の方で分析し、できることは改善し、そう言う事でよろしくお願いしたいと思います。 続きまして（２）の平成２４年度事業についてを議題といたします。事務局の説明を求めます。
岩野健康づくり課長	平成２４年度の健康づくり課事業についてご説明いたします。（会議資料１２ページから１４ページに基づき報告を行った。）
島田国民健康保険課長	平成２４年度の特定健康診査等事業についてご説明いたします。（会議資料１５ページに基づき報告を行った。）
議 長	事務局の説明が終わりました。どなたかご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。何かございませんか。
小柴委員	自殺について、聞くところによりますと全国で毎年３万人以上というような話を聞いている訳でございますが、この事業に関しては昨年度パンフレットを１７,０００部作っていますが、実際に富津市ではどの位自殺があるのでしょうか。
鈴木課長補佐	だいたい毎年１２人前後の方が亡くなっています。
議 長	毎年というけど、年度によって変わっていくのではないですか、昨年とか一昨年、わかれば。
鈴木課長補佐	自殺者数の資料を持っておりませんので、申し訳ありません。
	（参考： 富津市の自殺者数 平成 20 年 12 人 平成 21 年 12 人 平成 22 年 12 人 平成 23 年 14 人 ）

議 長	平成 19 年 20 年に富津市で要援護者ネットワークを立ち上げまして、これは、前年に自殺者、孤独死こういったものが増えてきて、市長の緊急命令と言いますか、それが今見回り事業になりまして、災害時の救出と 2 本柱でやっています、そういったものが自殺防止の状況を聞いた中で、年間 3 万人以上の自殺者が全国にいますと言われているんですが、地域と併せてどういうことができるのかということで進んでおりますが、おかげさまで要援護者ネットワークは行政区でやっているのは全国どこでもあるのですが、市全部を取り上げたというのは千葉県でも一番最初に取り上げました。今は各所で立ち上げています。 それと防災と言うと自主防災組織との話し合いとか、あと消防団とか、その辺を上手くリンクして活用できればいいのかなと、その辺も考えた中で市役所も努力していきたいと、先般事務局と話し合いをしたところです。
議 長	他に何かございませんか。
渡辺委員	両課の説明をいただいたのですが、他市と違う所とか、昨年度と違ってきているところ、今後このような所に力を入れていかなければいけないとか、今の時点でコメントのようなことが頂ければありがたいのですが。
鈴木課長補佐	富津市は若年健診を 18 歳から 39 歳の男女共に行っています。 近隣 3 市でございますが、袖ケ浦市、木更津市は 30 歳から 39 歳まで、君津市は男性が 30 歳から 39 歳まで、女性が 18 歳から 39 歳までです。 また、がん検診等の受診率が低いため、周知方法の見直しや受診勧奨等によりまして受診率を増やしていきたいと思っております。
島田国民健康保険課長	四市の比較という事でお話をさせていただければ、受診率と言いますか、富津市は 2 2 年度で 39.5%、木更津市は 33.8%、君津市が 40%、袖ケ浦市が 47.1%というような受診率になっています。 健診の対応と言いますか、集団検診と個別健診の両方やっているのは富津市だけでございます。 他の市では、個別検診のみでございます。 受診率ですが、他市でも大変伸び悩んでいるというようなことで、逆に集団健診を取り入れようかなという考えがあるという事で、両方併用してやっていく選択肢を増やした方が受診率が上がるのかなという事で、受診率が向上するように頑張っているところでございます。
岩野健康づくり課長	がん検診の受診率がなかなか上がらないという事で努力している訳ですが、今年は大腸がん検診が 7 月 26 日現在ですが、391 人の受診者がありまして、まだ期間がありますので 23 年度ベースより多くなるという事で予想している訳ですが、各対象者に通知を出したという事で、袖ケ浦市は、対象者に限なく通知を出すという事で、来年

	度以降も今年やっていただいた方は勿論のこと、40 歳 45 歳等節目年齢の方に通知を出しまして、受診の勧奨に努めてまいりたいと考えています。
平野弁一委員	二つ教えてください。最後の広域市町村圏事務組合負担金の所の括弧書きの中に二次待機施設というのがございますね。 二次待機施設とはどういうものなのか、どのように利用できるものなのか。 それと、検診の受診率が上がらないというお話をされている訳ですが、テレビ等健康ブームで「がん」についてとか、色々マスコミでやっているのですが、それでもまだ健康診断をやらない人が大勢いる。 なぜ多いのか。どこか他でやっていてもここに入ってきていないのですね。先程も乳児の検診があるのですが、その辺の把握はどうなのでしょう。
岩野健康づくり課長	二次待機施設についてですが、一次待機施設は木更津の夜間急病診療所があります。あと、地元の診療所がありますので、そこで診療を受けてもらいます。二次待機施設は入院が必要な施設で東病院等があります。
議 長	救急には、一次指定、二次指定、三次指定と三種類あります。 一次指定は見ていただけるだけ、二次指定は入院が可能な所、三次指定は24時間手術ができる。一次指定については、休日在宅当番医でお願いしている所、あと、自分のかかりつけのお医者さんで診てもらおう。広域市町村圏でやっているのは、夜間診療してくれる訳で、二つありまして、その部分と二次救急待機施設、これを医師会と市町村圏と契約をしている訳で、夜間お医者さんが付く訳ですね。 要するに、ずっと待機しますから、それで誰が来てもいいようにする。次の日にお医者さん不足しますから、それを一人頭いくらかという計算して支払っています。それを四市まとめてやっています。二次指定が富津市だと東病院と大佐和分院の二か所です。三次指定というのが心筋梗塞とか、生命に関わるような病気、直ぐに手術しなければならない病気とか出ますので、その時には君津中央病院は手術できるような体制が整っています。この三次指定は南房総の方は、君津中央病院と亀田病院しかありません。それと、茂原方面はほとんどありません。あと千葉にあります。そういう区分けの中でやっております。 二次待機施設は医師会の協力を得て広域市町村圏事務組合を窓口で四市でやっておりますので、その負担金ということです。
田中治実委員	二次病院の東病院さんと大佐和分院の話がありましたが、二次待機施設は順番で当番で回しているのです。毎晩待機しているのではなくて、例えば今日は大佐和分院が当番だと、木更津、君津、袖ヶ浦がどこも開いていない。そういう当番です。利用というか、通常は消防署の救急119番に電話して、どこの病院が二次として空いているかというのは、消防署に問い合わせるシステムです。

議 長	四市で輪番制でやっている。
岩野健康づくり課長	がん検診関係の分析ですが、胃がんの関係で40歳から対象ですが、受診しやすい環境とか、今月はどういう健診をやるか対象者に日程の通知をしたいと考えております。それから公用車によるマイクで、今日何時から明日何時から実施しますという事で各区内を回って、周知を図ってまいりたいと思います。
平野幸子主査	例えば胃がん検診ですと市の方で実施しているのがバリウム検査だけなのです。バリウムを飲めない方だとか高齢になると誤飲とかあってできない。便秘がちの方は飲んだあと苦勞して大変だとか言う方もありましたので、ご自分で内視鏡検査をされている方もいます。バリウム検査を全国的にやるように決まっていますが、できない方もいます。
平野弁一委員	ということは、数字だけ見るのではなくて、裏もあるよという事でいい訳ですね。何パーセントかは問題があるけれども。
平野幸子主査	漁組の方達に話をしましたら、バリウムが飲めないから内視鏡でやっている方も半数ぐらいいましたので、市の健診だけやるのが良いのではなくて、自分に合ったやり方でがん検診を受けていただければと思います。 今までも女性の方には子宮がん検診や乳がん検診のお知らせを配布したり、各小中学校の保護者にお知らせを配布したりしていましたが、今年度は申し込みを早めまして、5月9日の胸のレントゲン検診から全てのがん検診の申し込みを受け付けしています。 各健診会場や健診結果説明会等の会場でもがんの申込書を受け取れるようにしました。大腸がんも早くから色々な所で配っておりますので、現在の配布数は、900人位になっています。 健康づくり課の窓口や各連絡所でもがん検診の申し込み受付と大腸がん検診の検査キットの配布をしている所でございます。
議 長	他に、ございますか。 特にないようでしたら、本日の議題はすべて終了いたしました、事務局何かございますか。
正司健康福祉部長	富津市の各種検診は、数字だけを見ますとかなり低い訳でございます。 色々な検診と抱き合わせでやること、或いは各市はどのようなやり方をしているのか、そういった事も充分調査をして、他市では個別の受診勧奨を一度受診した方には次の年には必ず受診勧奨のハガキを出すとか、色々な方法をされているようでございます。 富津市でもそういった良い所の真似をして、これまで以上に受診率の向上につなげてまいりたいと考えています。

	それから、どうして受診していただけないのかという大きな理由としては、過疎化や高齢化が進んでおります。そう言った中で交通手段を持たない方が多くいらっしゃいますので、その対策として今年度試行的ではございますが、金谷地区と関豊地区の方を市のバスを使って健診会場まで送るといような試みをしてみました。 ただ、日程的に急だったもので利用者が少なかった訳ですが、そういった事も、今後各区の代表者の方と充分調整した中でご利用していただける方があれば、市のバスや色々な形で、そういった方に受診していただく機会を多く設けて行きたいと考えています。 それから、本日いただきました皆様のご意見ご指導につきまして、今後の健康づくりの推進に生かしてまいりたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。
議 長	他に、何かございませんか。 ないようでございますので、以上で富津市健康づくり推進協議会を終了いたします。委員の皆様には、これから２年間お願いする訳でございますが、よろしくご指導をお願い申しあげまして閉会といたします。 ありがとうございました。